

シンポジウム

ナノ物性の可視化と理解 AIと拓くマテリアル解析の新展開

会場 ■ 北陸先端科学技術大学院大学 中講義室 [ハイブリッド開催]

会場内定員90名

透過型電子顕微鏡 (TEM) をはじめとした設備・機器から収集・蓄積したデータの公開と共有が始まります。シンポジウムでは、データが導く新たな可能性について考えます。

参加無料

Day 1 13:30～17:30

9/11 木

2025年

Day 2 9:30～12:10

9/12 金

[PROGRAM]

13:30 – 13:40

● 開会の辞

大島 義文 (北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 教授／副研究科長)

13:40 – 14:30

● 計測インフォマティクスのTEM応用へのビジョンと問題点

武藤 俊介 (名古屋大学 未来材料・システム研究所 高度計測技術実践センター 電子顕微鏡計測部 教授)

14:30 – 15:20

● 微細構造計測データのための機械学習

志賀 元紀 (東北大学 未踏スケールデータアナリティクスセンター 教授)

15:50 – 16:40

● 生成AIを活用した計測データからの情報抽出と物質設計

溝口 照康 (東京大学 生産技術研究所 教授)

16:40 – 17:30

● 4D-STEMと教師無し機械学習によるナノ領域構造解析

木本 浩司 (物質・材料研究機構 マテリアル基盤研究センター センター長)

[PROGRAM]

9:30 – 10:20

● Data-Driven AI for Visualizing Materials Dynamics

HIEU CHI DAM (北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 教授)

10:20 – 11:10

● 情報科学の援用によるナノスケール幾何学情報の抽出および3次元可視化

井原 史朗 (九州大学 先端物質化学研究所 助教)

11:10 – 12:00

● 画像処理を活用した電子顕微鏡画像からのナノ材料情報の抽出

麻生 浩平 (北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 講師)

12:00 – 12:10

● 閉会の辞

高村 由起子 (北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 教授
 ／マテリアル先端リサーチインフラ スポーク機関 業務主任者)

